

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

自主防災会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和2年4月1日～令和3年3月15日			
決算額	99,646 円		助成金充当額	95,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	コロナ禍で、防災訓練は中止
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・地区防災物品の購入。 ・台風等の非常時対応。			
事業目標	・防災訓練の実施。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	防災訓練参加予定人数	150人	実施できず	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・防災訓練は令和2年10月実施で検討したが、コロナ感染防止により中止。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・令和2年10月、台風10豪発生時、自主防災会幹部が集合して、自主防災活動を実施した。 ・その際の経験から、不足した防災物品を購入したものである。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・コロナ禍で、多数での防災訓練は難しく、自治会単位の防災訓練を計画している。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 ③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 ③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	② 3
	今後も事業継続できますか		1	2 ③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和2年4月1日～令和3年3月15日			
決算額	110,678 円		助成金充当額	110,000 円
事業対象者	全地区民対象		参加人数	53名参加
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・琴芝ふれあいセンターで健康体操の講習。 ・常盤公園まで、ウォーキング。 ・常盤公園で、ゲーム、食事。			
事業目標	・健康増進、地区住民及び地区児童との交流を目的に、令和2年10月25日(日)実施。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	参加人数	100名	53名参加	
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナ禍で、参加人数は未達となった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・地区住民の健康増進に一定の成果を残した。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・コロナ禍で、参加者不足。更なるPR活動も必要である。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 ③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 ③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	② 3
	今後も事業継続できますか		1	2 ③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

琴芝小学校運営委員会
上宇部中学校運営委員会

事業名	3	小中学校連携事業		
事業期間	令和2年4月1日～令和3年3月15日			
決算額	142,000 円		助成金充当額	92,000 円
事業対象者	全地区住民		参加人数	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・小中学校の学校運営協議会に参加して、児童・生徒の地域行事への参加を促した。 ・琴芝祭り他多数の児童、生徒が参加した。			
事業目標	・小中学校連携により、地域の活性化を図る。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	・コミュニティ・スクールの認知度	80%以上	90%	
	・学校支援、地域貢献	150回以上	60回	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・琴芝小学校においては、コミュニティ・スクールの認知度は90%を超えた。 ・上宇部中学校においては、地域活動は、コロナ禍で、未達となった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・学校と地域との連携が強化した。 ・一斉清掃、地区の行事参加等、多方面で、成果が残せた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・地域と小中学校の連携は、地域の活性化にも繋がり、更に、連携強化に努めたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 ③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 ③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	② 3
	今後も事業継続できますか		1	2 ③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	4	コミュニティ行事運営事業			
事業期間	令和2年4月1日～令和3年3月15日				
決算額	687,407 円		助成金充当額	672,000 円	
事業対象者	全地区住民対象		参加人数	・ハロウィンパーティー55名 ・琴芝ふれあい祭り300名 ・イルミネーション点灯式135名	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ハロウィンパーティー(令和2年10月31日開催) 琴芝小学校児童、上宇部中学校生徒が参加。 ・琴芝ふれあい祭り(令和2年11月8日開催) 来館者300名。 ・イルミネーション点灯式(令和2年12月5日開催) 参加者135名。 ・フリーマーケットIN琴芝(令和3年3月7日)初めての開催行事。18団体が参加。				
事業目標	・各種行事の開催により、地域住民の連携強化を図る。				
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績		
	参加人数	・ふれあい祭り300名 ・イルミネーション100名	・ふれあい祭り300名 ・イルミネーション135名		
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) ・イルミネーション点灯式は、プロジェクトマッピングを開催したことから、予想以上に好評で目標を達成した。				
今後の課題等	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・小学校児童、中学校生徒、地区住民が連携を深めた。 ・地域活性化に大いに貢献した。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	②	3
	今後も事業継続できますか		1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	5	広報事業			
事業期間	令和2年4月1日～令和3年3月15日				
決算額	218,900 円		助成金充当額	200,000 円	
事業対象者	地区全世帯		参加人数	4,738世帯	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ 広報”琴芝だより”作成・配布。				
事業目標	・ 地区の様々な情報を地区住民が共有する。				
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績		
	地区の全世帯に配布。	全世帯配布。	全世帯配布。		
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) ・ 指定された期日に前世帯配布した。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・ 地区情報の共有化に一定の成果を残した。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・ 広報”琴芝だより”の更なる内容の充実が必要である。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	③
	今後も事業継続できますか		1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	6	三世代交流事業(どんど焼き事業)			
事業期間	令和2年4月1日～令和3年3月15日				
決算額	303,912 円		助成金充当額	303,000 円	
事業対象者	全地区民		参加人数	115名参加	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・令和3年1月10日どんど焼きの神事開催。 ・老人会が制作した、門松他を焼き、本年の安寧を願った。				
事業目標	・三世代交流により、地域活性化を図る。				
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績		
	行事参加予定人数	500名	115名参加		
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナ禍で、飲食を中止したこともあり、目標は未達。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・地区の行事として定着しており、地区住民の親睦に一定の成果を残した。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・コロナ禍であるが、行事の更なるPRが必要である。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	②	3
	今後も事業継続できますか		1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

社会福祉協議会

事業名	7	敬老事業			
事業期間	令和2年4月1日～令和3年3月15日				
決算額	213,300 円		助成金充当額	213,000 円	
事業対象者	地区の65歳以上の高齢者		参加人数	500枚配布	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・福祉委員だよりを毎月作成、配布。				
事業目標	・福祉委員だより配布により、一定の情報を提供する。				
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績		
	認知症講習会	50名	0名		
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) ・認知症講習会は、コロナ感染防止のため中止したものである。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・琴芝地区独自の"福祉委員だより"を作成、配布、相応の成果を残した。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・活動がマンネリ化しない方策が必要である。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	③
	今後も事業継続できますか		1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

環境衛生連合会琴芝支部

事業名	8	生活環境保健衛生向上事業		
事業期間	令和2年4月1日～令和3年3月15日			
決算額	328,333 円		助成金充当額	150,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	・琴芝クリーン作戦120名 ・空缶拾い116名
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・緑のカーテン啓発事業の実施 令和2年5月 ・琴芝クリーン作戦の実施 令和2年8月 ・全市一斉空き缶回収運動の実施 令和2年7月、10月 ・鯉の放流 令和3年3月			
事業目標	・生活環境保健衛生向上により、安全、安心な街づくりを目指す。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	真締川・塩田川・渡内川一斉清掃参加	300名以上	53名	
事業目標	(達成できた、又は、できなかった要因) ・一斉清掃は、コロナ禍で中止。自治体単位の小規模の開催に終わった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・事業の実施により、地区住民の生活環境・保健衛生に対する意識は向上した。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・未だ、全地区住民を巻き込んだ活動に至っておらず、この点が課題である。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 ③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 ③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	② 3
	今後も事業継続できますか		1	2 ③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	9	新しい生活対応事業		
事業期間	令和3年1月15日～令和3年3月15日			
決算額	103,180 円	助成金充当額	100,000 円	
事業対象者	琴芝地区各種団体長及び教室利用者	参加人数	18名	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・新しい生活対応のデジタル機器知識の習得に向けた、“デジタル委員会”の新設。 ・デジタル委員会の委員を中心に、地区住民のデジタル知識の浸透を図るもの。			
事業目標	・デジタル情報の提供により、新しい生活対応を促す。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	デジタル会議開催	3回程度	1回実施	
事業目標	(達成できた、又は、できなかった要因) ・短期間で、期末になり、本年の開催は1回に終わった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・各自が、実際に操作することにより、一定の効果は残した。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・デジタルに対する、知識、意識に差異があり、一定の時間が必要である。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	10	高校連携事業(宇部工業高校)シバザクラ植栽・キャンドルナイト事業			
事業期間	令和2年10月1日～令和3年3月15日				
決算額	98,417円		助成金充当額	98,000円	
事業対象者	令和2年11月11日開催シバザクラ 令和3年3月13日開催キャンドルナイト		参加人数	地域住民・48名参加 地域住民・63名参加	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・宇部工業高校生徒と、琴芝地区住民と一緒に真締川公園に"シバザクラ"を植栽。 ・真締川大橋周辺での"キャンドルナイト事業"を実施。 ・学生と地区住民のコミュニケーションを深め、学生の成長を促す。				
事業目標	・高校連携事業の強化により、地域の活性化を志向する。				
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績		
	住民参加者(シバザクラ事業)	100名	48名参加		
	住民参加者(キャンドルナイト)	100名	63名参加		
事業目標	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナ禍で、目標は未達に終わった。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・コロナ禍で、参加者は限られたが、相応の成果を残した。 ・参加者の多数は、来年度の開催を楽しみしている。 ・生徒と地区住民のコミュニケーションが深まった。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・本年が初めての事業であり、PR不足の面が見受けられた。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	②	3
	今後も事業継続できますか		1	2	③